

## 釣りバカ日誌 ‘パート V’

篠田茂雄

「釣りバカ」シリーズ第V弾をお送りします。さる、5月27日（土）恒例の建コン、地質両協会主催の春季釣り大会が決行されました。参加人数は総勢58名と久々に賑やかな大会となりました。当日は前夜の雨も上がり晴天、無風という素晴らしい「五月晴れ」となり、久しぶりに海の女神も我々の前途を祝福してくれている様な最高に素敵な気分に入ることができました。ある会社の釣り名人が前日浮かれすぎて二日酔いにて欠席の外、全員集合、船五艘に分乗し、定刻六時半出航、目ざす今日の漁場である「大型漁礁」に約1時間20分程、朝の澄みきった潮の香りを胸一杯吸いながら船はフルスピードで沖に向かっていきます。漁場に到着、すでに多数の漁船が帆を立てて釣糸をたれています。我々の船も良い漁場を探索すること約20分、小生が乗った「第二やまさ丸」の船頭さんの「ピー」という合図のもと、今日一日の大漁を期待してメンバー全員、先ず本日の第一投を投げ入れ当たりを待つこと数秒、小生の手にはグイという強い当たり。初の成果は約39cm程のカレイ本日の期待大いにあり、それに続いてメ

ンバーが40cm級のカレイが次々と上がり始め、船上は「タモ」が行き来する程全員、笑顔と楽しい会話で一杯という素晴らしい出足でした。きっと外の船も成果は上々で楽しんでいる事だろうと思いながら黙々と糸を垂れ続けております。途中あまりの天気の良さで海は「ベタナギ」という最高のコンディションの中で、船のデッキに寝ころぶ人、愛妻弁当を広げる人ありと潮風で真赤に日焼けしながらも寸暇を惜しんで船釣りを楽しんでおりました。12時過ぎから何となくいやな南東の風が吹き始め、午後一時全員上がりの合図。船団を組んで一路港に向かいました。いよいよ検量、小生達が乗った船が大物賞を含めてトップと思っておりましたが、本日の「ルール」は、いつもの重量ではなく、枚数とのことで誠に残念至極。結局、優勝者は、三井Cの吉田所長の長男（高一）が総枚数33匹という抜群の成績を収め、常連のモサ達を尻目に優勝したことは見事というほかありません。また特筆すべき事は、23匹で見事第三位に入賞した長女の女性釣り名人「志田女子」は毎回参加で年々着実に腕を上げ誠に見事

でした。(しかし、同社の荒木君の談によると釣った魚は全て「オス」とのこと、今度は陸上で見事な「オス」を釣り上げることを期待しようではありませんか。) 無事表彰も終わり全員秋の大会での再会を期して、家族の待つ自宅へと散ってゆきました。本当にご苦労様でした。久々にスカッとす大会が開催出来皆さんに感謝しております。最後に本人は乗船しないにも拘らず本

日の大会の裏方に徹して乗船の手配、賞品の調達等にご苦労下さった復建の中川幹事に心より感謝申しあげ、「釣バカ日誌」を閉じます。次は、秋口のアイナメ大会となる見込ですので、お互い精進を重ね頑張りましょう。多数の参加をお待ちしております。ごきげんよう。

(サンコーコンサルタント 榎)

記

優	勝	三井共同	吉田泰久 (33匹)
準優	勝	復建技術	長谷徹 (24匹)
3	位	長大	志田裕子 (23匹)
4	位	"	荒木孝広 (20匹)
5	位	サンコーC	篠田茂雄 (18匹)
大物賞		福山C	香月太 (43cm)
ブービー賞		近代設計	一色田修 (1匹)
当日賞		セントラルC	渡辺仁 (27位)
新人賞		建設技術	吉田晃久
特別賞(最年長)		東亜設計	黒沢静雄 (70才)
" (敢闘賞)		日本工営	田中昭治

